

懸賞SA 解答 2026年 1月号

問1 正解③

現行犯の場合は、令状による必要はない。令状主義は、司法による事前審査を経ることにより不当逮捕を防止しようとするものであるから、犯人であることが明らかで不当逮捕のおそれのない現行犯の場合には、この原則は適用されない。

問2 正解①

警察の活動が必ずどちらか片方にだけ属するということではない。例えば、人を殺傷しようとする行為を防止することは、個人の生命を保護することであると同時に、犯罪の予防、すなわち公共の安全と秩序を維持することでもある。

問3 正解⑤

公務執行妨害罪における暴行は、暴行罪における暴行より広く、直接的に相手方の身体に向けられた有形力の行使に限られず、間接暴行も含まれることから、公務員の補助者など、公務員以外の第三者の身体に向けられた暴行も該当することがある。

問4 正解④

搜索・差押えを行う場合は、処分を受ける者に令状を示さなければならない（刑訴法222条1項・110条）。これは、令状を提示することによって捜査手続の正当性を知らせるとともに、処分を受ける者の利益を保護しようとするものであるから、執行の着手前に提示するのが原則である。

問5 正解②

失敗やその対処に関する経験・知識が乏しく、対処に不慣れな若手職員は、当然にリカバリー教養の対象となる。なお、若手職員だけではなく、誤った経験則・知識に基づいて対処する可能性や慣れにより適切な対処を怠る可能性が考えられる中高年等のベテラン職員等も対象となる。

問6 正解④

学校におけるいじめ問題については、一義的には教育現場における対応を尊重しつつも、犯罪行為等がある場合には、被害児童等やその保護者の意向、学校における対応状況等を踏まえながら、警察として必要な対応をとらなければならない。

問7 正解③

知能犯罪とは、犯行の手段・方法が主として知能的要素によって構成される犯罪であり、暴行・脅迫を手段とする強盗罪は当たらない。

問8 正解⑤

交通指導取締りは、必要以上に長時間にわたることなく、短時間にてきばきと事案処理することが必要である。

問9 正解①

我が国の右翼運動は「反共主義」の性格が著しく強いことが特徴である。天皇制を否定し、国際的な連帯を求める共産主義は、右翼の主張する国家主義・民族主義と本質的に相容れない。

問10 正解②

天守が国宝に指定されている国宝五城は、東から順に、松本城（長野県）、犬山城（愛知県）、彦根城（滋賀県）、姫路城（兵庫県）、松江城（島根県）であり、名古屋城（愛知県）は該当しない。